

校長室だより

10月第2号

今年も記録を更新する「猛暑」や「熱中症警戒アラート」発表の毎日が続いた、「夏」。養護教諭の先生は毎日、何度も WBGT の機械をもって運動場や体育館など校内を回って計測し、子供たちの健康と安全、そして大切な命を守る日々を送りました。

日本は四季折々の行事、食べ物、文化、お祭り、スポーツなどがあり、この季節の移り変わりが心身にとっても大切で貴重だと思っています。個人的に私は、「夏が大好き」ですが、ワクワクする夏のイメージが変わってしまう「危険な暑さ」になった気持ちです。そんな猛暑も、10 月当初の雨の日々を境に次第に「秋の気配」を感じさせてくれ、雨の合間に行った運動会を元気な児童生徒のおかげで、楽しく盛大に実施することができて嬉しく思っています。

さて、四季の中でも「食欲の秋」「スポーツの秋」「文化の秋」など最も形容詞（〇〇の秋）の多い季節です。最近ハウスや栽培法の工夫等により多くの食べ物が 1 年中、食べることが多くなってきましたが、やっぱり、季節に収穫された食べ物は美味しいですね。秋は数え切れないほど多くの野菜や果物が収穫され、和歌山も柿や早生みかんなど果物は全国で有数の地です。食欲の秋を代表する食材の一つにサツマイモがあります。今が旬です。最近焼き芋がブームで、スーパーなどの売り場でも甘い焼き芋の香りが漂っていますね。冷やして楽しむ焼き芋も人気でコンビニには、サツマイモを使ったスイーツもたくさんあり、つい買っちゃいます。

本校が立地する西浜地区は、砂地が広がりサツマイモの産地です。特に「水軒」と呼ばれる地域が有名で、江戸時代後期に栽培が始まったと伝わっています。

本校学校運営協議会（地域コミュニティ）委員様のご支援や地域農家の方々のご理解とご協力のお陰で、毎年、小学部の子供たちが西浜の砂地畑でサツマイモを育て、収穫させていただいています。今年度も過日 10 日に、小学部全員で恒例の「おいもほり」学習を実施しました。四季の変化や雨の恵みで成長の様子や大きさをみて収穫する茎に実った野菜と違って、お芋は掘り出してみないとわからないわくわく感が子供たちの好奇心を誘います。一生懸命みんなで掘り起こし、期待どおり大豊作で子供たちのお顔ほどある大きなお芋をいっぱい砂地の畝から収穫できました。子供たちは大喜び、大満足。すばらしい生きた体験をすることができました。砂地で育ったお芋は肌質がきめ細かくてきれいで形もすらっとしておいしそうでした。地域農家の方に感謝しております。ご協力いただいた保護者の皆様方にもお礼申し上げます。

